

とちぎ 福祉用具・自助具“発明・工夫・適応”コンテスト 2025 応募用紙

提出日：令和 年 月 日

ふりがな  
お名前：

年齢：

性別：

ご住所： 〒  
電話番号：  
E-mail：

所属または学校名：

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的に使用し、他の目的には一切使用致しません。

★応募作品について：可・不可のどちらかに丸を付けて下さい →

士会 HP への掲載： 可 ・ 不可

次年度パンフレット等への掲載： 可 ・ 不可

作品名	
表題	
事例概要	【どんな人】 【何で困っている】 【何をどう工夫した】 【どうなった(達成度)】
疾患	
心身機能・構造の特徴	
疾患・障害の種別	骨関節疾患 中枢神経系疾患 神経筋系疾患 内部疾患（循環・呼吸・代謝） 感覚器疾患 運動発達系疾患 精神心理系疾患 高齢期疾患 その他の疾患
活動の種類	ADL：食事/排泄/入浴/整容/更衣/コミュニケーション/就寝/起居/移動/その他 IADL：買物/料理/洗濯/掃除/金銭管理/服薬管理/自動車/公共交通機関/その他 就労・教育・余暇・介助用・その他（ ）
活動・参加の制限の特徴	
用具の種類	市販品 改良品 個別製作品 開発品 その他
工夫したポイント	

利用上の留意点	
使用した製品	材料名/メ-カ-名： 入手先： 価格：
利用者の声	
備考	

用具の説明			
		大きさ	重さ
画像	用具の外観		
	つくり方		

	<p>活用場面</p>	
--	-------------	--

【記載内容の補足】

★表題：内容が分かるような記載

（例）〇〇で困っている〇〇の方に〇〇を用いた(工夫した)事例

★心身機能・構造の特徴：生活行為の困難さに影響していた心身機能・身体構造の特徴

（例）両手は動くが、遠くの位置まで伸ばすことができない。情報が多いと混乱しやすい。

★活動・参加の制限の特徴：活動・参加の困りごとの内容(遂行方法や環境面)

（例）手先が不器用で、上手く線を引くことができないため勉強がしづらい。

★用具の種類：市販品一般製品で改良していないもの、改良品市販品を改良し活用しやすく調整したもの  
個別製作品障害特性に合わせ個別に製作したもの、開発品アイデアから製品化されたもの

★利用上の留意点：使用上の注意点、耐久性、価格、衛生面といった留意点

★利用者の声：用具の使用前の困りごと、導入後の使い勝手、使用頻度、感想

★用具の説明：どのような特徴のある用具なのか、用具の説明、作り方、設置の仕方、活用場面など

（例）対象者に合わせてカットし接着する。〇〇に設置する。

★画像：最大 10 枚、各項目 1 枚以上で、その用具の状況が分かるような写真をお願いします

応募用紙 送付先

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町 3337-1

栃木県立リハビリテーションセンター内

障害者自立訓練センター 駒生園 加藤 由里 宛

e-mail: katouy01@tochigi-riha.jp